

令和 6 (2024)年度 事業報告書

(令和 6 (2024)年 4 月 1 日から 令和 7 (2025)年 3 月 31 日まで)

令和 7 (2025) 年 6 月 4 日

公益財団法人 国際科学技術財団

< 概 況 >	2
< 事 業 活 動 >	4
1. 顕彰事業.....	4
(1) 2024 年日本国際賞(Japan Prize)授賞式および関連行事	4
(2) 2025 年日本国際賞受賞候補者の審査と決定	4
(3) 2026 年日本国際賞授賞対象分野の検討と発表	12
(4) 2026 年日本国際賞受賞候補者の推薦依頼	15
2. 研究助成事業.....	15
3. 啓発活動.....	18
4. 広報活動.....	19
(1) Japan Prize 受賞者発表記者会見開催	19
(2) 海外広報活動	19
(3) その他広報活動	20
5. 会議開催状況.....	20
(1) 評議員会および理事会の開催	20
(2) 資産運用委員会の開催	21
< 会 計 報 告 >	24
令和 6 (2024)年度 貸借対照表.....	24
令和 6 (2024)年度 正味財産増減計算書.....	25
令和 6 (2024)年度 経常費用内訳	26
令和 6 (2024)年度 正味財産増減計算書内訳表	28
財務諸表に対する注記.....	30
附属明細書	33
令和 6 (2024)年度 財産目録	34

< 概 況 >

2024 年度は、主要事業の推進に加え、2025 年より新会場となる新国立劇場での授賞式準備、中長期の財務基盤安定化のための資産組替の検討等、将来に向けた活動にも取り組みました。

（日本国際賞）

4 月に 2024 年日本国際賞（Japan Prize）授賞式を開催し、天皇皇后両陛下のご臨席と天皇陛下のおことばを賜りました。矢崎会長より「資源、エネルギー、環境、社会基盤」分野でブライアン・ホスキンス博士とジョン・ウォーレス博士、「医学、薬学」分野でロナルド・エバンス博士へ日本国際賞を授賞しました。

関連行事として、総理大臣表敬訪問、記念講演会、メディアインタビュー、英国大使館主催のレセプションを行いました。祝宴は今年も自粛と致しましたが、受賞者とその親族や親しい方々、財団関係者による内輪の交流会を開催しました。

2025 年日本国際賞では、選考と授賞式準備を行いました。審査委員会より「物質・材料、生産」分野でラッセル・ディーン・デュプイ博士、「生物生産、生態・環境」分野でカルロス・M・ドゥアルテ博士が推挙され、11 月理事会にて推挙された方々を受賞者に決定しました。1 月にオンラインで受賞者発表記者会見を開催しました。

2026 年日本国際賞では、授賞対象分野検討、推薦募集を行い、審査を開始しました。分野検討委員会の検討の結果、「エレクトロニクス、情報、通信」と「生命科学」を授賞対象分野とする事が合意され、定義文が作成されました。11 月理事会にて授賞対象分野と定義文を承認し、2 月上旬にかけてこれらの定義文に基づいて候補者推薦を募集しました。

3 月の審査委員会において審査部会委員が承認され、2026 年日本国際賞は新体制による審査が始まっています。

ここ数年授賞式の規模を縮小しておりましたが、2025 年は新国立劇場を新たな会場として以前の規模で式典を開催する準備を進めました。祝宴は自粛となりましたが、両陛下と受賞者の懇談会、受賞者と関係者の交流会を昨年同様に開催する準備を進めました。

その他の週間行事として、昨年同様の受賞者国大使館レセプション、記念講演会、総理表敬、メディアインタビューに加えて、以前に行っていた日本学士院表敬訪問、受賞者と分野を同じくする研究者との学術懇談会を 2025 年より復活する準備も進めました。

（研究助成）

平成記念研究助成は制度発足後 6 年目を迎えました。今年も若手研究者の育成を図り助成対象者と選考委員・財団幹部との交流会を開催しました。2025 年の助成対象者を平成記念研究助成選考委員会にて選考いただき、3 月理事会において決定しました。助成制度のさらなる改善について検討を進めてまいります。

（広報活動）

広報活動においては、4 月の 2024 年日本国際賞授賞式と 1 月の 2025 年日本国際賞受賞者発表の 2 つのイベントのメディア発信を中心に取り組みました。

国内では、1 月の記者会見をオンラインで実施したことにより、首都圏以外からも多くの参加がありました。また、プレスリリースや関連資料の質や量を向上したことで、テレビ局・5 大紙・通信社だけでなく、大学や研究機関にも大きく取り上げられました。

海外では、1月の受賞者発表のニュースリリースを59の国と地域に配信、各国の主要メディアをカバーしたことで従来よりも多くの記事掲載につながりました。

（財務活動）

財務活動においては、資産運用が堅調に推移し、当初の計画を上回る結果となりました。保有債券の一部早期償還により利子収入が見通しを下回りましたが、保有株式に見通しを上回る配当があり、収支が計画より良化しました。

中長期的な財務基盤の安定化に向けては、理事会で承認いただいた保有資産の組替を2025年度に実施します。資産運用委員会と都度検討、確認を行い、保有資産の分散化、中長期的なリスク低減を図ってまいります。

< 事業活動 >

1. 顕彰事業

(1) 2024 年日本国際賞(Japan Prize)授賞式および関連行事

令和 6 (2024) 年 4 月 16 日 (火) に帝国ホテル東京「孔雀の間」にて、天皇皇后両陛下ご臨席のもと三権の長、大臣等を招待して授賞式を挙行了しました。2024 年は「資源、エネルギー、環境、社会基盤」分野ではブライアン・ホスキンス博士とジョン・ウォーレス博士の 2 名、「医学、薬学」分野ではロナルド・エバンス博士の 1 名の合計 3 名が受賞となりました。

授賞式は、昨年と同様に感染症対策のため、立法・行政・司法各機関の幹部の他、財団役員・委員のみの招待とし、祝宴は実施しませんでした。また翌日 17 日は受賞記念講演会を実施しました。

(2) 2025 年日本国際賞受賞候補者の審査と決定

分野検討委員会にて作成された定義文に基づき、「物質・材料、生産」分野と「生物生産、生態・環境」分野の候補者を、財団に登録された全世界 15,500 人以上の推薦人(著名な学者・研究者)にジャパンプライズ WEB 推薦システム(JPNS : Japan Prize Nomination System)を通じて推薦を求めました。今回から、これまでの個人授賞(3 名以内の共同受賞を含む)に加え、個人を特定しないグループ授賞を可能としました。これにより両分野合わせて個人候補が 221 件、グループ候補に 6 件の推薦が寄せられました。

「審査委員会」および「審査部会」は、令和 6 (2024) 年 3 月から審査を重ね、「審査部会」から推薦された候補者の中から「審査委員会」の審査を経て最終候補者が理事会に推挙されました。

令和 6 (2024) 年 11 月 7 日開催の理事会において、2025 年日本国際賞受賞者を次の 2 名に決定しました。

「物質・材料、生産」分野

受 賞 者：ラッセル・ディーン・デュプイ博士 (米国)

授賞業績：「化合物半導体電子・光デバイスのための有機金属気相成長法の開発と大規模商用化への先駆的貢献」

「生物生産、生態・環境」分野

受 賞 者：カルロス・M・ドゥアルテ博士 (スペイン)

授賞業績：「地球環境変動下にある海洋生態系に関する研究、特にブルーカーボンの先導的研究への貢献」

令和7（2025）年1月22日に、東京の主会場と2博士をそれぞれオンラインで結び、受賞者発表記者会見を実施しました。

◆ 2025 年日本国際賞審査委員会委員および審査部会委員

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
「審査委員会」		
委 員 長	五 神 真	国立研究開発法人理化学研究所 理事長 前東京大学総長
副 委 員 長	間 野 博行	国立研究開発法人国立がん研究センター 研究所長
委 員	大久保 達也	東京大学 総長特別参与 東京大学大学院工学系研究科 教授
〃	岡 野 栄之	慶應義塾大学 教授 慶應義塾大学再生医療リサーチセンター センター長
〃	川 上 則雄	国立研究開発法人理化学研究所 最先端研究プラットフォーム連携(TRIP)事業本部 基礎量子科学研究プログラム 副プログラムディレクター 京都大学名誉教授

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	永田 恭介	筑波大学 学長
〃	長谷川 眞理子	独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長 総合研究大学院大学名誉教授
〃	松下 正幸	公益財団法人国際科学技術財団 理事
〃	森口 泰孝	公益財団法人国際科学技術財団 理事 公益財団法人科学技術広報財団 理事長
〃	安浦 寛人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所 副所長 九州大学名誉教授
審査部会 「物質・材料、生産」分野		
部 会 長	川上 則雄	国立研究開発法人理化学研究所 最先端研究プラットフォーム連携(TRIP)事業本部 基礎量子科学研究プログラム 副プログラムディレクター 京都大学名誉教授

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
部会長代理	幾原 雄一	東京大学 特別研究教授
委 員	石谷 治	広島大学大学院先進理工系科学研究科 特任教授 東京工業大学名誉教授
〃	小口 多美夫	大阪大学大学院基礎工学研究科 特任教授
〃	加藤 昌子	関西学院大学生命環境学部 教授
〃	金光 義彦	京都大学化学研究所 特任教授 京都大学名誉教授
〃	菊池 昇	株式会社トヨタコンボン研究所 代表取締役所長

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	小林 研介	東京大学大学院理学系研究科 教授
〃	塩谷 光彦	東京理科大学研究推進機構総合研究院 教授 東京大学名誉教授
〃	島川 祐一	京都大学化学研究所 所長・教授
〃	瀧川 仁	早稲田大学大学院 客員教授 北海道大学名誉教授
〃	野崎 京子	東京大学大学院工学系研究科 教授
〃	浜地 格	京都大学大学院工学研究科 教授

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	安田 秀幸	京都大学大学院工学研究科 教授
専 門 委 員	近藤 哲男	東京農工大学農学府・農学部 寄附講座・教授
〃	古川 英光	山形大学大学院理工学研究科 教授
審査部会 「生物生産、生態・環境」分野		
部 会 長	長谷川 眞理子	独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長 総合研究大学院大学名誉教授
部会長代理	巖佐 庸	九州大学名誉教授
委 員	上 真一	広島大学名誉教授

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	河田 雅圭	東北大学教養教育院 総長特命教授
〃	熊谷 日登美	日本大学生物資源科学部食品開発学科 教授
〃	澁澤 栄	東京農工大学卓越リーダー養成機構 特任教授
〃	嶋田 透	学習院大学理学部 学部長・教授 東京大学名誉教授
〃	嶋田 正和	東京大学名誉教授
〃	東樹 宏和	京都大学大学院生命科学研究科 教授

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	中丸 麻由子	東京科学大学環境・社会理工学院 教授
〃	花輪 公雄	東北大学名誉教授
〃	茂木 一孝	麻布大学獣医学部動物応用科学科 教授
	鷺谷 いづみ	東京大学名誉教授
専 門 委 員	三枝 信子	国立環境研究所地球システム領域 領域長
	清水 浩	大阪大学大学院情報科学研究科 教授

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
専 門 委 員	田 中 佑	岡山大学環境生命自然科学学域 准教授
	中野 雄司	京都大学大学院生命科学研究科 教授
	福田 真嗣	慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任教授

(令和 7 年 1 月 受賞者発表時現在)

(3) 2026 年日本国際賞授賞対象分野の検討と発表

分野検討委員会にて検討された、2026 年日本国際賞の二つの授賞対象分野とそれらの定義文、および 2026 年から 2028 年までの向こう 3 年間の授賞対象領域・分野を、令和 6(2024) 年 11 月 7 日開催の理事会にて決定し、同日発表しました。

◆ 2026 年日本国際賞授賞対象分野

「エレクトロニクス、情報、通信」分野および「生命科学」分野

◆ 日本国際賞授賞対象分野（2026 年-2028 年）

「物理、化学、情報、工学」「Physics, Chemistry, Informatics, and Engineering」

授賞対象分野	授賞年
エレクトロニクス、情報、通信 Electronics, Information, and Communication	2026 年
資源、エネルギー、環境、社会基盤 Resources, Energy, Environment, and Social Infrastructure	2027 年

授賞対象分野	授賞年
物質・材料、生産 Materials and Production	2028 年

「生命、農学、医学、薬学」 「Life Sciences, Agriculture, Medicine, and Pharmacology」

授賞対象分野	授賞対象年
生命科学 Life Sciences	2026 年
医学、薬学 Medical Science and Pharmaceutical Science	2027 年
生物生産、生態・環境 Biological Production, Ecology/ Environment	2028 年

◆ 2025 年日本国際賞分野検討委員会委員

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員 長	宮園 浩平	国立研究開発法人理化学研究所 理事 東京大学大学院医学系研究科応用病理学 卓越教授
副委員長	橋本 和仁	国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長
委 員	新井 洋由	東京大学名誉教授 帝京大学薬学部 教授 東京大学大学院医学系研究科 客員研究員
〃	五十嵐 仁一	元 ENEOS 総研株式会社 代表取締役社長 元 JXTG エネルギー 取締役常務執行役員
〃	上田 修功	国立研究開発法人理化学研究所 革新知能統合研究センター 副センター長 NTT コミュニケーション科学基礎研究所 リサーチプロフェッサー（客員フェロー）

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科 教授
〃	倉永 英里奈	東北大学大学院生命科学研究科 教授 京都大学大学院薬学研究科 教授
〃	黒田 忠広	東京大学特別教授室 特別教授 熊本県立大学 理事長
〃	堤 伸浩	東京大学 副学長 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
〃	仲野 徹	大阪大学名誉教授
〃	波多野 睦子	東京科学大学 理事・副学長 東京科学大学工学院 教授
〃	宝野 和博	国立研究開発法人物質・材料研究機構 理事長
〃	元村 有希子	同志社大学生命医科学部 特別客員教授
〃	吉田 稔	国立研究開発法人理化学研究所 理事 東京大学特別教授室 特別教授 東京大学名誉教授

(令和 6 年 11 月 授賞対象分野発表時現在)

(4) 2026 年日本国際賞受賞候補者の推薦依頼

2026 年日本国際賞受賞候補者を、財団に登録された全世界 16,000人以上の推薦人(著名な学者・研究者)に、個人を対象とする推薦と、グループ授賞の推薦を、ジャパンプライズ WEB 推薦システム(JPNS)を通じて求めました。令和 7 年 1 月末の締め切りまでに個人を対象とする推薦 292 件、グループを対象とする推薦 4 件が寄せられました。

2. 研究助成事業

2025 年研究助成対象者を 4 月に発表し助成金を贈呈しました。

令和 6 (2024) 年 9 月 6 日 (金) に都内ホテルにおいて、助成対象者と選考委員および財団役員の交流会を開催しました。当日は各助成対象者から研究状況について率直な発表があり、活発に意見が交わされました。発表終了後、懇談会を行いました。

「2025 年日本国際賞平成記念研究助成選考委員会」を設置し、応募 60 件について書類選考・ビデオ選考・最終面接の三段階で選考を行い、下記 4 組 15 名の研究助成対象者を決定しました。

(2025 年研究助成対象者は令和 7(2025) 年 4 月 10 日に発表しました。)

◆ 2025 年日本国際賞平成記念研究助成対象者

研究テーマ	氏 名(敬称略)・所 属		助成額
研究困難な農業遺伝資源の利用拡大でサブサハラアフリカの食卓の未来を支える ーキャッサバの多様性を明らかにする IT プラットフォームー	研究代表者	井関 洸太郎 国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 生物資源・利用領域 主任研究員	10 百万円
	共同研究者	ODEDEYI, Temitope ロンドン大学通信接続システム研究所 (英国) 研究員	
	共同研究者	RABBI, Ismail Yusuf 国際熱帯農業研究所 (ナイジェリア) キャッサバ育種ユニット 主任研究員	

研究テーマ	氏 名(敬称略)・所 属		助成額
アフリカにおけるマラリアをモデルケースとした学際的な感染症理解のフレーム構築	研究代表者	加賀谷 渉 長崎大学熱帯医学研究所生態疫学分野 助教	10 百万円
	共同研究者	永島 優 独立行政法人 日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究員	
	共同研究者	高 勇羅 東北大学大学院医学系研究科 微生物学分野 非常勤講師	
	共同研究者	西 真如 広島大学大学院人間社会科学研究科 人間総合科学プログラム 准教授	
変動するグローバル秩序における中国とインド：「グローバル・サウス」をめぐりリーダーシップの競合	研究代表者	高橋 知子 京都大学東南アジア地域研究研究所 助教	514 万円
	共同研究者	周 源 神戸大学大学院法学研究科 法学政治学専攻 助手	
	共同研究者	KHAN, Raphaëlle ニューヨーク市立大学シティ・カレッジ リサーチ・アシスタント	
	共同研究	ACEVEDO-OSSA, Juan ニューヨーク市立大学大学院センター リサーチ・アシスタント	

研究テーマ	氏 名(敬称略)・所 属		助成額
飛行型分子ロボットによるスマート農薬の開発	研究代表者	浜田 省吾 東京科学大学情報理工学院情報工学系 テニュアトラック助教	10 百万円
	共同研究者	西田 暁史 東京農業大学生命科学部 分子微生物学科 助教	
	共同研究者	田中 尚人 東京農業大学生命科学部 分子微生物学科 教授	
	共同研究者	本橋 慶一 東京農業大学国際食料情報学部 国際農業開発学科 教授	

(所属、役職は令和 7 年 3 月理事会承認時現在)

◆ 2025 年日本国際賞平成記念研究助成選考委員会委員

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
選考委員長	松本 洋一郎	東京大学名誉教授
選 考 委 員	岡部 繁男	東京大学大学院医学系研究科 教授
〃	沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科 教授
〃	梶川 裕矢	東京大学未来ビジョン研究センター 教授
〃	神崎 亮平	東京大学名誉教授 東京大学先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
選 考 委 員	白波瀬 佐和子	東京大学 特任教授
〃	長谷川 眞理子	独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長 総合研究大学院大学名誉教授
〃	松田 譲	公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団 名誉理事

(令和 7 年 3 月理事会承認時現在)

3. 啓発活動

やさしい科学技術セミナー

広く一般の方を対象として科学技術に関する知識の啓発を目的として実施している「やさしい科学技術セミナー」を、オンラインを中心に 4 回開催（第 346～349 回）しました。

◆ やさしい科学技術セミナー開催状況

開催回	開催日（収録日）・場所・テーマ・講師	
第 346 回	収録日	2024 年 8 月 1 日（木）／国際科学技術財団
	テーマ	ロマ（ジプシー）の言語異世界～フィールド言語学の現場から～
	講 師	角 悠介 先生／ 神戸市外国語大学外国学研究所 客員研究員
第 347 回	開催日	2024 年 12 月 18 日（水）／群馬県立中央中等教育学校
	テーマ	災害・医療・政治
	講 師	島田 裕平 先生 東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻 博士課程

開催回	開催日（収録日）・場所・テーマ・講師	
第 348 回	収録日	2025 年 2 月 19 日（水）／関西大学文学部神経美学研究室
	テーマ	美と芸術を科学する神経美学
	講 師	石津 智大 先生 関西大学文学部心理学専修 教授
第 349 回	開催日	2025 年 2 月 22 日（土）／札幌市円山動物園 動物科学館ホール
	テーマ	ユキヒョウの希少な生態を知る（ネパール編）
	講 師	木下 こづえ 先生 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授

4. 広報活動

（1）Japan Prize 受賞者発表記者会見開催

令和 7（2025）年 1 月 22 日にオンラインで実施しました。受賞者と参加メディアを web 会議サービスによって接続し、同時通訳を交えながら、受賞者のご挨拶と記者からの質問に対する回答を参加メディアに伝え、同時に記者発表の模様をリアルタイムでライブ配信しました。記者発表に続き受賞者へのグループインタビューを実施しました。オンラインの特徴を活かし、地方メディアにも広く案内をしたことで首都圏以外からも多くの参加が認められました。

プレスリリースや関連資料の質と量の充実を図って参りました。今回もテレビ局・5 大紙・通信社だけでなく、大学や研究機関にも大きく取り上げていただくことができました。

（2）海外広報活動

オンラインニュース配信会社のサービスを引続き活用し、配信対象国を拡大しています。今回は、59 の国と地域でプレスリリースを配信して各国の主要メディアをカバーすることで、従来よりも多くの記事掲載につながりました。配信会社からフィードバックされる掲載メディアの名称とその地域のデータの分析は、効果的に認知を高める方策の検討に活かせるものと思われます。

(3) その他広報活動

令和 6 (2024) 年 4 月に広報資料「Japan Prize 日本国際賞 2023」を、令和 7 (2025) 年 1 月に「Japan Prize News No.71」を発行しました。

Japan Prize ウェブサイトは、随時アップデートしています。

5. 会議開催状況

(1) 評議員会および理事会の開催

次の評議員会と理事会を開催しました。

◆ 評議員会開催状況

開催回	開催日および場所、審議の結果	
第 29 回 評議員会	令和 6 (2024) 年 6 月 6 日(木) 帝国ホテル東京「孔雀の間 (西)」	
	1. 令和 5 年度事業報告案および財務諸表等案の詳細説明	
	2. 任期満了に伴う会長選任の詳細説明	
	3. 任期満了に伴う理事選任の詳細説明	
第 30 回 評議員会	令和 6 (2024) 年 6 月 21 日(金) 書面決議(評議員全員の同意書による)	
	1. 令和 5 年度事業報告案および財務諸表等案の件	承認
	2. 任期満了に伴う会長選任の件	承認
	3. 任期満了に伴う理事選任の件	承認
第 31 回 評議員会	令和 6 (2024) 年 11 月 14 日(木) 書面決議(評議員全員の同意書による)	
	1. 理事選任の件	承認

◆ 理事会開催状況

開催回	開催日および場所、議案および議決の結果	
第 63 回 理事会	令和 6 (2024) 年 6 月 6 日(木) 帝国ホテル東京「孔雀の間 (西)」	
	1. 評議員会へ上程する令和 5 年度事業報告案および財務諸表等案 の承認の件	承認
	2. 事業報告等に係る提出書類についての承認の件	承認
	3. 保有する株式に係る議決権の行使承認の件	承認
	4. 資産管理運用規程改定の件	承認
	5. 評議員会へ上程する会長候補の推挙および理事候補者案 承認の件	承認

開催回	開催日および場所、議案および議決の結果	
第 63 回 理事会	6. 議員会の日時および場所並びに目的である事項承認の件	承認
	7. 理事長候補の選定の件	承認
	8. 顧問および参与選任の件	承認
	9. 理事会の日時および場所並びに目的である事項承認の件	承認
	10. 事務局長選任の件	承認
	11. 2025 年日本国際賞平成記念研究助成選考委員承認の件	承認
第 64 回 理事会	令和 6（2024）年 6 月 21 日(金) 書面決議(理事および監事全員の同意書による)	
	1. 理事長選定の件	承認
	2. 顧問、参与選任の件	承認
	3. 財団の安定的運営の施策の件	承認
第 65 回 理事会	令和 6（2024）年 11 月 7 日(木) ホテルニューオータニ「おり鶴 麗の間」	
	1. 2025 年日本国際賞受賞候補者承認の件	承認
	2. 2026 年日本国際賞授賞対象分野他承認の件	承認
	3. 2026 年日本国際賞審査部会 部会長および部会長代理承認の件	承認
	4. 評議員会に上程する理事候補者について	承認
	5. 評議員会の日時および場所並びに目的である事項承認の件	承認
	6. 専務理事候補の選定の件	承認
	7. 理事会の日時および場所並びに目的である事項承認の件	承認
	8. パナソニック ホールディングス社株式売却の件	承認
第 66 回 理事会	令和 6（2024）年 11 月 14 日(木) 書面決議(理事および監事全員の同意書による)	
	1. 専務理事選定の件	承認
第 67 回 理事会	令和 7（2025）年 3 月 5 日(水) アーク森ビルイーストウイング 35 階 国際科学技術財団「会議室」	
	1. 令和 7（2025）年度事業計画および収支予算等承認の件	承認
	2. 2025 年日本国際賞平成記念研究助成対象者承認の件	承認
	3. 日本国際賞分野検討委員会委員承認の件	承認
	4. 資産管理運用規程改定の件	承認

（２）資産運用委員会の開催

「資産運用委員会」を次のとおり開催しました。

開催回	開催日および場所、審議の内容	
第 10 回	令和 6（2024）年 5 月 10 日（金） アーク森ビルイーストウイング 35 階 国際科学技術財団「会議室」	
	1. 令和 6 年度事業計画についての説明	
	2. 令和 5 年度決算（案）についての検討	
	3. 資産管理運用規程改訂検討	

開催回	開催日および場所、審議の内容
第 10 回	4. 第 63 回理事会提出委員会意見書
第 11 回	令和 6（2024）年 8 月 30 日（金） アーク森ビルイーストウイング 35 階 国際科学技術財団「会議室」
	1. 公益法人制度改革の進捗状況について報告 2. 資産管理運用規程改訂検討 3. 資産組替の組替手続き検討、組替え運用候補の検討
第 12 回	令和 6（2024）年 10 月 11 日（金） アーク森ビルイーストウイング 35 階 国際科学技術財団「会議室」
	1. 第 65 回理事会提出委員会意見書『令和 6 年度上期資産運用状況』検討 2. パナソニックホールディングス社株式の売却手続きの検討 3. 資産組替え方針の検討
第 13 回	令和 6（2024）年 12 月 18 日（水） アーク森ビルイーストウイング 35 階 国際科学技術財団「会議室」
	1. 第 65 回理事会審議状況の報告 2. 資産管理運用規程改訂についての検討 3. パナソニックホールディングス社株式の売却日程の検討 4. 令和 7 年度の運用方針の確認、組替先と手続きの検討
第 14 回	令和 7（2025）年 1 月 29 日（水） アーク森ビルイーストウイング 35 階 国際科学技術財団「会議室」
	1. 新規国内株購入の検討 2. パナソニックホールディングス社株式の売却及び手法の検討件
第 15 回	令和 7（2025）年 2 月 7 日（金） アーク森ビルイーストウイング 35 階 国際科学技術財団「会議室」
	1. 2025(令和 7)年度事業計画の検討 2. パナソニックホールディングス社株式の売却及び手法の検討
第 16 回	令和 7（2025）年 3 月 21 日（金） アーク森ビルイーストウイング 35 階 国際科学技術財団「会議室」
	1. 第 65 回理事会の報告 2. 新国内株式買付の件 3. 積立金・剰余金の運用の件 4. パナソニックホールディングス社株式の売却実施の確認 5. 米国ドル建て債券での運用の検討

◆ 資産運用委員会委員

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委員長	鈴木 繁治	元 会計検査院 事務総長 元 ルクセンブルク大公国駐筭特命全権大使
委 員	野手 弘一	元 株式会社三井住友銀行 市場営業推進部長、監査部 上席考査役 元 三井住友銀行企業年金基金 常務理事/運用執行理事 現 国立大学法人筑波大学 CFO
〃	水野 讓	元 松下電器産業株式会社 財務部長、上席理事財務・I R 担当 現 松下不動産株式会社 副社長

(2024 年度末)

< 附属明細書の作成について >

上記の事業報告に関して、一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定されている附属明細書によりその内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。

令和 7 (2025) 年 6 月 4 日

公益財団法人 国際科学技術財団

< 会 計 報 告 >

令和6（2024）年度 貸借対照表

（令和7（2025）年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
-----	-----	-----	-----	-----

【Ⅰ】資産の部

現金預金	259,075,725	203,063,081	+56,012,644	
未収金	5,780,549	6,702,381	-921,832	
前払金	20,673,595	11,914,198	+8,759,397	
流動資産合計	285,529,869	221,679,660	+63,850,209	
普通預金	327,365	595,652	-268,287	
投資有価証券	23,549,192,750	19,966,433,300	+3,582,759,450	
基本財産合計	23,549,520,115	19,967,028,952	+3,582,491,163	
賞金基金普通預金	7,725	5,632,646	-5,624,921	
賞金基金有価証券	2,086,892,370	2,099,157,800	-12,265,430	
退職給付引当資産	42,528,200	40,288,200	+2,240,000	
平成記念研究助成預金	20,000,000	40,000,000	-20,000,000	
賞金変額制対応預金	400,000,000	300,000,000	+100,000,000	
特定資産合計	2,549,428,295	2,485,078,646	+64,349,649	
建物付属設備	3,453,969	2,676,632	+777,337	
什器備品	5,068,858	5,212,762	-143,904	
電話加入権	459,300	459,300	+0	
敷金	15,494,770	15,494,770	+0	
保証金	10,000	10,000	+0	
その他固定資産計	24,486,897	23,853,464	+633,433	
固定資産合計	26,123,435,307	22,475,961,062	+3,647,474,245	
資産合計	26,408,965,176	22,697,640,722	+3,711,324,454	

【Ⅱ】負債の部

未払金	3,159,832	2,496,490	+663,342	
預り金	956,795	1,473,131	-516,336	
賞与引当金	5,171,000	5,191,000	-20,000	
流動負債合計	9,287,627	9,160,621	+127,006	
退職給付引当金	42,528,200	40,288,200	+2,240,000	
固定負債合計	42,528,200	40,288,200	+2,240,000	
負債合計	51,815,827	49,448,821	+2,367,006	

【Ⅲ】正味財産の部

寄附金	22,819,344,414	19,271,050,964	+3,548,293,450	
指定正味財産合計	22,819,344,414	19,271,050,964	+3,548,293,450	
〔うち基本財産への充当額〕	22,819,344,414	19,271,050,964	+3,548,293,450	
一般正味財産合計	3,537,804,935	3,377,140,937	+160,663,998	
〔うち基本財産への充当額〕	730,175,701	695,977,988	+34,197,713	
〔うち特定資産への充当額〕	2,506,900,095	2,444,790,446	+62,109,649	
正味財産合計	26,357,149,349	22,648,191,901	+3,708,957,448	
負債及び正味財産合計	26,408,965,176	22,697,640,722	+3,711,324,454	

令和6（2024）年度 正味財産増減計算書

（令和6（2024）年4月1日から令和7（2025）年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
-----	-----	-----	-----	-----

【Ⅰ】一般正味財産増減の部

（１）経常増減の部

基本財産受取利息	26,378,526	28,548,047	-2,169,521	
基本財産受取配当金	551,506,100	501,333,600	+50,172,500	
基本財産運用益	577,884,626	529,881,647	+48,002,979	
特定資産受取利息	44,789,358	57,132,135	-12,342,777	
特定資産受取配当金	27,788,100	31,822,100	-4,034,000	
特定資産運用益	72,577,458	88,954,235	-16,376,777	
受取寄附金	8,225,000	8,750,000	-525,000	
受取利息	190,731	2,312	+188,419	
その他収益	0	59,570	-59,570	
雑収益	190,731	61,882	+128,849	
経常収益計	658,877,815	627,647,764	+31,230,051	
事業費	490,032,717	501,295,474	-11,262,757	
管理費	24,488,462	24,743,842	-255,380	
経常費用計	514,521,179	526,039,316	-11,518,137	
評価損益等調整前当期経常増減額	144,356,636	101,608,448	+42,748,188	
基本財産評価損益等	34,197,713	105,918,930	-71,721,217	
特定資産評価損益等	-17,890,351	317,651,450	-335,541,801	
評価損益等計	16,307,362	423,570,380	-407,263,018	
当期経常増減額	160,663,998	525,178,828	-364,514,830	

（２）経常外増減の部

固定資産売却益	0	879	-879	
経常外収益計	0	879	-879	
固定資産除却損	0	1,655,860	-1,655,860	
経常外費用計	0	1,655,860	-1,655,860	
当期経常外増減額	0	-1,654,981	+1,654,981	
当期一般正味財産増減額	160,663,998	523,523,847	-362,859,849	
一般正味財産期首残高	3,377,140,937	2,853,617,090	+523,523,847	
一般正味財産期末残高	3,537,804,935	3,377,140,937	+160,663,998	

【Ⅱ】指定正味財産増減の部

基本財産評価損益等	3,548,293,450	3,626,283,750	-77,990,300	
当期指定正味財産増減額	3,548,293,450	3,626,283,750	-77,990,300	
指定正味財産期首残高	19,271,050,964	15,644,767,214	+3,626,283,750	
指定正味財産期末残高	22,819,344,414	19,271,050,964	+3,548,293,450	

【Ⅲ】正味財産期末残高	26,357,149,349	22,648,191,901	+3,708,957,448	
-------------	----------------	----------------	----------------	--

令和6（2024）年度 経常費用内訳（1/2）

（令和6（2024）年4月1日から令和7（2025）年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
■ 事業費				
日本国際賞賞金	200,000,000	200,000,000	+0	
顕彰品費	12,759,933	15,334,536	-2,574,603	
奨励金	34,400,000	47,900,000	-13,500,000	
式典費	33,624,538	28,564,518	+5,060,020	
祝宴費	1,670,000	0	+1,670,000	
大道具保管料	0	336,600	-336,600	
給料手当及び賞与	53,283,425	45,294,537	+7,988,888	
福利厚生費	9,203,875	7,343,810	+1,860,065	
退職給付費用	1,926,400	2,003,800	-77,400	
諸謝金	6,777,000	7,454,700	-677,700	
旅費交通費	7,010,538	6,581,833	+428,705	
受賞者招聘旅費	13,353,438	13,005,816	+347,622	
滞在費	6,039,340	5,983,741	+55,599	
什器備品費	257,775	2,409,390	-2,151,615	
広報費	35,761,096	31,696,501	+4,064,595	
消耗品費	1,600,073	797,816	+802,257	
印刷製本費	496,089	5,214	+490,875	
通信運搬費	1,294,093	955,877	+338,216	
光熱水料費	228,521	149,380	+79,141	
借料及び損料	40,561,826	51,532,257	-10,970,431	
会議費	4,262,637	5,903,154	-1,640,517	
通訳料	2,695,851	2,666,489	+29,362	
雑役務費	7,142,468	8,386,587	-1,244,119	
調査委託費	14,338,720	14,545,032	-206,312	
雑費	242,029	1,650,490	-1,408,461	
建物付属設備減価償却費	182,777	316,177	-133,400	
什器備品減価償却費	920,275	449,490	+470,785	
ソフトウェア減価償却費	0	27,729	-27,729	
事業費合計	490,032,717	501,295,474	-11,262,757	

令和6（2024）年度 経常費用内訳（2/2）

（令和6（2024）年4月1日から令和7（2025）年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
■ 管理費				
給与手当及び賞与	8,674,045	7,373,529	+1,300,516	
福利厚生費	1,498,305	1,195,503	+302,802	
退職給付費用	313,600	326,200	-12,600	
諸謝金	3,600,580	3,374,680	+225,900	
旅費交通費	844,350	653,635	+190,715	
什器備品費	68,522	640,470	-571,948	
消耗品費	284,776	206,794	+77,982	
印刷製本費	8,547	1,386	+7,161	
通信運搬費	268,331	247,074	+21,257	
光熱水料費	60,745	39,708	+21,037	
借料及び損料	6,192,025	7,851,505	-1,659,480	
会議費	220,994	114,296	+106,698	
雑役務費	604,844	722,945	-118,101	
調査委託費	1,031,572	1,031,572	+0	
雑費	524,011	753,643	-229,632	
建物付属設備減価償却費	48,586	84,047	-35,461	
什器備品減価償却費	244,629	119,484	+125,145	
ソフトウェア減価償却費	0	7,371	-7,371	
管理費合計	24,488,462	24,743,842	-255,380	
経常費用合計	514,521,179	526,039,316	-11,518,137	

令和6（2024）年度 正味財産増減計算書内訳表（1/2）

（令和6（2024）年4月1日から令和7（2025）年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公1 顕彰事業	公2 助成事業	公3 啓発事業	公益事業共通	小計		

【I】一般正味財産増減の部

（1）経常増減の部

基本財産受取利息				22,157,962	22,157,962	4,220,564	26,378,526
基本財産受取配当金				463,265,124	463,265,124	88,240,976	551,506,100
基本財産運用益	0	0	0	485,423,086	485,423,086	92,461,540	577,884,626
特定資産受取利息	44,752,830	12,701		23,827	44,789,358		44,789,358
特定資産受取配当金	27,788,100				27,788,100		27,788,100
特定資産運用益	72,540,930	12,701	0	23,827	72,577,458	0	72,577,458
受取寄附金	0	0	0	8,225,000	8,225,000	0	8,225,000
受取利息				190,731	190,731		190,731
雑収益	0	0	0	190,731	190,731	0	190,731
経常収益計	72,540,930	12,701	0	493,862,644	566,416,275	92,461,540	658,877,815
日本国際賞賞金	200,000,000				200,000,000		200,000,000
顕彰品費	12,759,933				12,759,933		12,759,933
奨励金		34,400,000			34,400,000		34,400,000
式典費	33,624,538				33,624,538		33,624,538
祝宴費	1,670,000				1,670,000		1,670,000
給料手当及び賞与	44,609,381	4,337,022	4,337,022		53,283,425		53,283,425
福利厚生費	7,705,571	749,152	749,152		9,203,875		9,203,875
退職給付費用	1,612,800	156,800	156,800		1,926,400		1,926,400
諸謝金	6,528,510	248,490			6,777,000		6,777,000
旅費交通費	6,295,155	611,141	104,242		7,010,538		7,010,538
受賞者招聘旅費	13,353,438				13,353,438		13,353,438
滞在費	6,039,340				6,039,340		6,039,340
什器備品費	212,095	19,577	26,103		257,775		257,775
広報費	35,761,096				35,761,096		35,761,096
消耗品費	1,395,613	95,974	108,486		1,600,073		1,600,073
印刷製本費	490,391	2,442	3,256		496,089		496,089
通信運搬費	1,110,586	93,373	90,134		1,294,093		1,294,093
光熱水料費	188,025	17,355	23,141		228,521		228,521
借料及び損料	33,712,667	5,265,531	1,583,628		40,561,826		40,561,826
会議費	3,748,819	510,544	3,274		4,262,637		4,262,637
通訳料	2,695,851				2,695,851		2,695,851
雑役務費	6,534,500	147,415	460,553		7,142,468		7,142,468
調査委託費	13,513,472	825,248			14,338,720		14,338,720
雑費	195,765	3,726	42,538		242,029		242,029
建物付属設備減価償却費	150,387	13,881	18,509		182,777		182,777
什器備品減価償却費	757,189	69,894	93,192		920,275		920,275
事業費	434,665,122	47,567,565	7,800,030	0	490,032,717	0	490,032,717

令和6（2024）年度 正味財産増減計算書内訳表（2/2）

（令和6（2024）年4月1日から令和7（2025）年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公1 顕彰事業	公2 助成事業	公3 啓発事業	公益事業共通	小計		

【Ⅰ】一般正味財産増減の部（続き）

（１）経常増減の部

給料手当及び賞与					0	8,674,045	8,674,045
福利厚生費					0	1,498,305	1,498,305
退職給付費用					0	313,600	313,600
諸謝金					0	3,600,580	3,600,580
旅費交通費					0	844,350	844,350
什器備品費					0	68,522	68,522
消耗品費					0	284,776	284,776
印刷製本費					0	8,547	8,547
通信運搬費					0	268,331	268,331
光熱水料費					0	60,745	60,745
借料及び損料					0	6,192,025	6,192,025
会議費					0	220,994	220,994
雑役務費					0	604,844	604,844
調査委託費					0	1,031,572	1,031,572
雑費					0	524,011	524,011
建物付属設備減価償却費					0	48,586	48,586
什器備品減価償却費					0	244,629	244,629
管理費	0	0	0	0	0	24,488,462	24,488,462
経常費用計	434,665,122	47,567,565	7,800,030	0	490,032,717	24,488,462	514,521,179
評価損益等調整前当期経常増減額	-362,124,192	-47,554,864	-7,800,030	493,862,644	76,383,558	67,973,078	144,356,636
基本財産評価損益等				34,197,713	34,197,713		34,197,713
特定資産評価損益等				-17,890,351	-17,890,351		-17,890,351
評価損益等計	0	0	0	16,307,362	16,307,362	0	16,307,362
当期経常増減額	-362,124,192	-47,554,864	-7,800,030	510,170,006	92,690,920	67,973,078	160,663,998

（２）経常外増減の部

経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-362,124,192	-47,554,864	-7,800,030	510,170,006	92,690,920	67,973,078	160,663,998
一般正味財産期首残高	-3,413,066,423	-501,911,722	-131,433,006	6,959,258,514	2,912,847,363	464,293,574	3,377,140,937
一般正味財産期末残高	-3,775,190,615	-549,466,586	-139,233,036	7,469,428,520	3,005,538,283	532,266,652	3,537,804,935

【Ⅱ】指定正味財産増減の部

基本財産評価損益等				3,548,293,450	3,548,293,450		3,548,293,450
当期指定正味財産増減額	0	0	0	3,548,293,450	3,548,293,450	0	3,548,293,450
指定正味財産期首残高				19,271,050,964	19,271,050,964		19,271,050,964
指定正味財産期末残高	0	0	0	22,819,344,414	22,819,344,414	0	22,819,344,414

Ⅲ. 正味財産期末残高	-3,775,190,615	-549,466,586	-139,233,036	30,288,772,934	25,824,882,697	532,266,652	26,357,149,349
-------------	----------------	--------------	--------------	----------------	----------------	-------------	----------------

【備考】基本財産及び特定資産運用益の配分、及び共通費用の配賦基準

基本財産運用益	—	—	—	84%	84%	16%	100%
賞金基金運用益	100%	—	—	—	100%	—	100%
人件費関係費用	72%	7%	7%	—	86%	14%	100%
その他共通費用	65%	6%	8%	—	79%	21%	100%

財務諸表に対する注記（1/3）

（令和6（2024）年度決算及び決算報告書に関する注記）

1. 重要な会計方針

（1）有価証券の評価基準及び評価方法

i. 満期保有の債券以外の有価証券

- ・ 期末の市場価額に基づく時価法により評価しています。
- ・ 市場価額のないものについては、合理的に算定された価額に基づく時価法により評価しています。

（2）固定資産の減価償却の方法

- ・ 平成23年度以前取得の有形固定資産 定率法
- ・ 平成24年度以後取得の有形固定資産 定額法
- ・ 無形固定資産 定額法

（3）引当金の計上基準

i. 退職給付引当金

- ・ 職員に対する退職給付金の支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を引当金計上しています。

ii. 賞与引当金

- ・ 期末時点における職員の給与実績と当年度の賞与支給実績率に基づき、翌年度の賞与支給見込額を算出し、そのうち当期に帰属する額を引当金計上しています。

（4）消費税等の会計処理

- ・ 消費税等は、税込方式により会計処理を行っています。

財務諸表に対する注記（2/3）

（令和6（2024）年度決算及び決算報告書に関する注記）

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

・基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目		前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	普通預金	595,652	200,103,694	200,371,981	327,365
	債券	944,266,700	6,450,100	432,545,000	518,171,800
	株式	19,022,166,600	4,156,567,087	147,712,737	23,031,020,950
	有価証券計	19,966,433,300	4,163,017,187	580,257,737	23,549,192,750
	基本財産小計	19,967,028,952	4,363,120,881	780,629,718	23,549,520,115
特定資産	普通預金	5,632,646	602,309,918	607,934,839	7,725
	債券	1,406,902,500	2,210,000	620,755,000	788,357,500
	株式	692,255,300	634,466,121	28,186,551	1,298,534,870
	賞金基金	2,104,790,446	1,238,986,039	1,256,876,390	2,086,900,095
	普通預金	40,288,200	2,240,000		42,528,200
	退職給付引当資産	40,288,200	2,240,000	0	42,528,200
	普通預金	40,000,000	0	20,000,000	20,000,000
	平成記念研究助成預金	40,000,000	0	20,000,000	20,000,000
	普通預金	300,000,000	200,000,000	100,000,000	400,000,000
	賞金変額制対応預金	300,000,000	200,000,000	100,000,000	400,000,000
	特定資産小計	2,485,078,646	1,441,226,039	1,376,876,390	2,549,428,295
基本財産・特定資産合計		22,452,107,598	5,804,346,920	2,157,506,108	26,098,948,410

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

・基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目		当期末残高	指定正味財産 からの充当額	一般正味財産 からの充当額	負債に対応する額
基本財産	普通預金	327,365	286,114	41,251	0
	債券	518,171,800	211,495,000	306,676,800	0
	株式	23,031,020,950	22,607,563,300	423,457,650	0
	有価証券計	23,549,192,750	22,819,058,300	730,134,450	0
	基本財産小計	23,549,520,115	22,819,344,414	730,175,701	0
特定資産	普通預金	7,725	0	7,725	0
	債券	788,357,500	0	788,357,500	0
	株式	1,298,534,870	0	1,298,534,870	0
	賞金基金	2,086,900,095	0	2,086,900,095	0
	普通預金	42,528,200			42,528,200
	退職給付引当資産	42,528,200	0	0	42,528,200
	普通預金	20,000,000	0	20,000,000	0
	平成記念研究助成預金	20,000,000	0	20,000,000	0
	普通預金	400,000,000	0	400,000,000	0
	賞金変額制対応預金	400,000,000	0	400,000,000	0
	特定資産小計	2,549,428,295	0	2,506,900,095	42,528,200
基本財産・特定資産合計		26,098,948,410	22,819,344,414	3,237,075,796	42,528,200

財務諸表に対する注記（3/3）

（令和6（2024）年度決算及び決算報告書に関する注記）

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

・固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	4,377,863	923,894	3,453,969
什器備品	8,422,511	3,353,653	5,068,858
固定資産合計	12,800,374	4,277,547	8,522,827

5. 引当金の明細

・引当金の明細は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	40,288,200	2,240,000	0	0	42,528,200
賞与引当金	5,191,000	5,171,000	5,191,000	0	5,171,000
引当金合計	45,479,200	7,411,000	5,191,000	0	47,699,200

6. その他

金融商品の状況に関する事項

i. 金融商品に対する取組方針

- ・当法人は、法人運営の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用します。
当法人が利用するデリバティブ取引は仕組債に限定し、投機目的のデリバティブ取引は行いません。

ii. 金融商品の内容及びそのリスク

- ・投資有価証券は、債券、株式、デリバティブ取引を組み込んだ仕組債であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）、流動性リスクにさらされています。
保有する仕組債の簿価は1,306,529,300円です。

iii. 金融商品に係るリスク管理体制

- ・資産運用規程に基づく取引
金融商品の取引は、当法人の資産管理運用規定に基づき行います。
- ・信用リスクの管理
債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し理事会に報告します。
- ・市場リスクの管理
株式については時価を定期的に把握し、理事会に報告します。

附属明細書

(令和6(2024)年度決算及び決算報告書に関する附属明細書)

1. 基本財産及び特定資産の明細

- ・財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略します。

2. 引当金の明細

- ・財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略します。

令和6（2024）年度 財産目録

（令和7（2025）年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
-----	--------	-------	-----

【Ⅰ】資産の部

現金預金		運転資金	259,075,725
普通預金	三井住友信託銀行 本店営業部		165,950,186
	三井住友銀行 新橋支店		93,125,539
未収金	スクラップ売却費	事業活動に伴う短期債権	5,780,549
前払金	メダル製作費他	公益目的事業費用の前払い等	20,673,595
流動資産合計			285,529,869
普通預金	三井住友信託銀行 本店営業部	公益目的保有財産	327,365
投資有価証券		運用益の内、84%を公益目的事業の財源とし、	23,549,192,750
債券	円建外債及びユーロ円債 5 銘柄	16%を法人会計の管理費用の財源としています	518,171,800
株式	パナソニック株式会社他 7 銘柄		23,031,020,950
基本財産合計			23,549,520,115
賞金基金普通預金	三井住友信託銀行 本店営業部	公益目的保有財産	7,725
賞金基金有価証券		運用益の全てを顕彰事業の財源としています	2,086,892,370
債券	円建外債及びユーロ円債 5 銘柄		788,357,500
株式	5 銘柄		1,298,534,870
退職給付引当資産	三井住友信託銀行 本店営業部	負債に対応する資産	42,528,200
平成記念研究助成資金普通預金	三井住友信託銀行 本店営業部	公益目的保有財産	20,000,000
賞金変額制対応資金普通預金	三井住友信託銀行 本店営業部	運用益の全てを顕彰事業の財源としています	400,000,000
	三井住友銀行 新橋支店		
特定資産合計			2,549,428,295
建物付属設備	間仕切他 計 6 点	公益目的保有財産	3,453,969
什器備品	応接セット他 計 14 点		5,068,858
電話加入権	電話回線 5 回線		459,300
敷金	賃借事務所敷金		15,494,770
保証金			10,000
その他固定資産合計			24,486,897
固定資産合計			26,123,435,307
資産合計			26,408,965,176

【Ⅱ】負債の部

未払金	社会保険料他	事業活動に伴う短期債務	3,159,832
預り金	源泉税他	事業活動に伴う短期債務	956,795
賞与引当金	夏季賞与（翌期支給見込のうち当期帰属分）	事業活動に伴う短期債務	5,171,000
流動負債合計			9,287,627
退職給付引当金	職員の退職時要支給見込額	事業活動に伴う固定負債	42,528,200
固定負債合計			42,528,200
負債合計			51,815,827

【Ⅲ】正味財産の部

正味財産合計			26,357,149,349
負債及び正味財産合計			26,408,965,176